

第48回

【テーマ別】

市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成24年11月27日

○会 場 武蔵野市国際交流協会

武 蔵 野 市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そしてテーマを決めないで実施する「青空タウンミーティング」がございます。

テーマ別では、「商店街の振興」や「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「地域で育てよう！武蔵野の子ども」「災害時に試される地域力」などを開催しています。また、学生やシニアの方たちとまちづくりや活躍の場などについて意見交換を行いました。

今回は、武蔵野市国際交流協会との共催により、「第48回市民と市長のタウンミーティング」として、外国人の方と様々な課題について話し合いましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

武蔵野市長 **邑上守正**

概 要

1. 日 時 平成24年11月27日(火)
午後6時30分～8時30分
2. 場 所 武蔵野市国際交流協会
3. 主 催 武蔵野市国際交流協会・武蔵野市
4. 参加者数 26人(傍聴含む)
国 籍 中国、アメリカ、ミャンマー、ネパール
シンガポール、タイ、フランス
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正
国際交流協会 理事長 川口 博久
市民部長 加藤 伸也
交流事業課長 関根 龍一
6. 司 会 国際交流協会 藤谷 純子
市民部市民活動担当部長 大杉 由加利
7. テ ー マ 『外国人にも暮らしやすいまちとは?』

※ タウンミーティングの前に、外国人の方だけでグループになり、武蔵野市に住んで感じた印象などについて、意見交換を行いました。
また、意見交換は、原則日本語で行い、必要に応じて通訳ボランティア等が入りながら進めました。



目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 「外国人にも暮らしやすいまち？」をテーマにした意見交換（要旨）	2
1. ごみ袋、ごみの分別について.....	2
2. 空気と緑について.....	2
3. 吉祥寺の魅力について.....	3
4. 子どもの学校生活について.....	4
5. 子どもへの母国語の学習支援について.....	4
6. 公共機関等での外国語対応について.....	4
7. ボランティア活動について.....	5
8. M I Aの事業、心の支援について.....	6
9. M I Aのファミリープログラムについて.....	6
10. 大学間の交流について.....	7
11. M I Aへの支援について.....	8
12. 外国人転入者への支援について.....	8
13. 武蔵境のまちづくりについて.....	10
14. 情報を得られる場所について.....	11
15. 図書館の数、楽器の練習場所について.....	12
(3) 閉会のあいさつ	14
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針.....	15
3. アンケートでいただいた感想.....	19

— 付属資料 —

第48回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市 長】

皆さん、こんばんは。漢字で書いてあるのでちょっと読みにくいかもしれませんが、市長の邑上と申します。よろしくお願いします。

私は、これまでタウンミーティングという手法で多くの市民の皆さんと意見交換を行ってまいりました。今日で 48 回目、延べ 3,550 人ぐらいの方にご参加いただいております、直接意見を聞いて、課題の解決や市政への反映等の取り組みを進めてまいりました。

今までのタウンミーティングは、まずコミュニティセンターを中心に地域の課題についての話し合いをし、その後さらにいろいろな声を聞くために環境、子育て、高齢者などテーマ別に開催しました。

でも、若い人の参加が少ないと思い、今年になって大学生を対象としたタウンミーティングも 2 度行いました。それに加えて、誰でも参加できるように、街中で行う青空タウンミーティングも行っており、先日は武蔵野プレイスの前の広場で実施しました。

でも、いろいろ考えると、外国人の方のお話をあまり直接聞いたことがないということに気づきました。武蔵野市には外国人の方も多く住んでおり、大切な市民の一員でありますので、ぜひ皆さんのご意見を聞いて、より一層誰もが住みよい武蔵野市にしていきたいと思っています。

今日はお時間が限られますけれども、いろいろなご意見をお寄せください。



【武蔵野市国際交流協会 川口 博久 理事長】



こんばんは。武蔵野市は、「世界平和に寄与するまちづくりをしよう」ということをひとつの目標としていますが、その根本になるのはやはり市民の方です。そして、市民の方の中には皆さんのように外国人の方もいらっしゃいます。

これまで多くの日本人の市民の方がタウンミーティングに参加されたということですが、今日は外国人の方の立場から、よりよい武蔵野市あるいは日本人の方と一緒に共生できるようなまちづくり、それを目指すためにどのようなことをしたらいいのか。ぜひいろいろなご意見を聞かせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

(2)「外国人にも暮らしやすいまち」をテーマにした意見交換（要旨）

1. ごみ袋、ごみの分別について

【ご意見】

ごみの袋が高い。それから、ごみの分別の仕方が難しい。

【市 長】

武蔵野市はごみですごく苦勞しています。ごみは自分たちの市で処理するのが基本なので、量は少ない方がいいことになります。そこで、皆さんには例えば買い物袋をもらわないようにするとか、生ごみも出すのではなくて、それを堆肥化してプランターに使うとか、リサイクルやリユースなどでごみが少なくなるように努力してほしいと思っています。



以前はごみを出す際に皆さんが負担する費用はありませんでしたが、税金を使って処理をしていますので、正確に言うと無料ではありません。その処理代というのは極めて高く、現在、武蔵野市で年間どれぐらいのごみの処理費を使っているかという、30数億円、市民1人当たりすると2万数千円使っていることになります。

そこで、ごみを出す方にも、少し負担してもらおうということで、ごみ袋の有料化がスタートしました。すると、皆さんどうですか。ごみの袋をいっぱい使おうとは思いませんよね。ごみ袋の有料化によって、ある程度はごみの削減ができていると思っています。

意識を高めていただくということもあって、1リットル当たり2円、20リットル袋で40円というような額で負担をお願いしています。これは平均的な家庭で、月に500円を負担していただくということで算出した額ですので、ぜひご理解いただきたいと思います。

今、世の中の流れはごみの有料化に移ってきています。ただ、23区は基本的にごみの袋は無料になっているので、23区から武蔵野市にいくと高いと感じるかもしれません。しかし、武蔵野市をはじめ、多摩地域はごみの問題意識を大変高く持っており、ごみをいかに減らしていこうかということで、それぞれの自治体で努力をしていますので、ぜひご理解いただければと思います。

2. 空気と緑について

【ご意見】

ミャンマーから来た。今は武蔵境に住んでいるが、2年前は西巢鴨に住んでいた。そこはちょっと狭くて、空気もあまりよくなかったが、武蔵境に引っ越したら、空気もきれいで、自然もあってよかったと思っている。

【市 長】

車の排気ガスの規制などもあって、確かに空気はきれいになってきていますね。それと、武蔵野市も緑を増やしていこうと努力しています。緑が増えると空気が浄化されますので、その成果が出てきたのかもしれません。

武蔵野市というのはご存じかどうか分かりませんが、人口密度がすごく高いところです。約10平方キロメートルに約13万8,000人の方が住んでいますので、1平方キロにすると1万4,000人近く住んでいることになります。これは、市のレベルでいうと全国で2番目に密度が高い都市と言われています。

ただ、市の周りには大きな公園があります。境であれば小金井公園、中央地区には武蔵野中央公園、そして吉祥寺には井の頭公園があり、樹木がいっぱいありますので、ぜひ自然に触れ合ってください。

3. 吉祥寺の魅力について

【ご意見】

私の出身地はネパールで、今小金井に住んでいる。吉祥寺は、大学での飲み会などで利用する店もいっぱいあるし、おしゃれなお店などもいっぱいある。あと井の頭公園も広々としているので、そういうのが大好きだ。

【市 長】

ありがとうございます。吉祥寺はすごくしゃれていますね。よくテレビで登場したり、映画のロケで使われたりしています。全国的には「武蔵野市」より「吉祥寺」のほうが有名で、「武蔵野市ってどこ？」と言われたりしますので、そのたびに吉祥寺は武蔵野市だという言い方をしています。

吉祥寺はご案内のとおりいろんな店が集まっていますが、課題もあります。大きな店が撤退したり、あと環境浄化の問題もあります。これは、あまりよろしくない店が出ていたりして、それをなくしていこうという運動ですが、この間ずっと取り組んできました。今後も皆さんが安心して楽しめるようなまちにもっとしていきたいと思っています。

それともうひとつは、武蔵野市は大きな店がドーンとあればいいという考えではなくて、それをつなぐ小さな店、ユニークな店がいっぱい集まっているのが吉祥寺らしさだと思っています。そして、回遊性のあるまち、歩きやすい、歩いて楽しいまちにするために、いろいろな工夫をしているところです。

武蔵野市にはいろいろな資源がありますが、それをもっとPRしていくために、一昨年観光推進機構という組織を立ち上げました。そこでは、市内のいろいろな宝物的な資源を収集して、それを発信していく取り組みを行っています。また、フィルムコミッションと言って、映画ロケなどの撮影を積極的に誘致しており、効果が出てきたのではと思っています。

他の都市に負けないように、これからもさらなる魅力づくりを進めてまいりますので、皆さんもお友達が来たら、必ず吉祥寺に行っていただきたいと思っています。



多くの来街者でにぎわう吉祥寺

4. 子どもの学校生活について

【ご意見】

半月前、中国から武蔵野市にきた。今後、娘が日本に来る予定だが、学校のことについていろいろ聞きたいと思っている。テレビでよく聞くがいじめられないか心配している。

【市長】

最近もよくニュースなどでいじめの問題が出たりしますので、皆さん心配ですよ。



でも、武蔵野市内は報道でされているようないじめ問題は、それほど多くないと思っています。それほどというのは、やはり子ども同士ですから、けんかをしたりすることもあります。それが往々にしていじめという形で過大視されることもあります。武蔵野市の場合はそれほど課題になっていません。

外国からこられた方については、各学校の先生が頑張っていますので、まずは事前に市の教育委員会にぜひお越しいただき、ご相談してみてください。学校での生活なども聞けるかと思います。

また、武蔵野市立第四中学校の中に帰国外国人相談室があり、専門の先生やスタッフがおりますので、いろいろな相談ができるかと思います。いずれにしましても、市役所にご連絡いただければご案内いたします。

5. 子どもへの母国語の学習支援について

【ご意見】

中国から来た。私は武蔵野市在住ではなく在勤だが、自分の子どもを日本の小学校に入れると、どうしても母国語を勉強する機会がない。私以外でもそういう方もいて、母国語を忘れてしまうのではという悩みもある。もし市で母国語学習の支援があれば、本当にいいと思う。

【市長】

市が行っているのは、基本的には市在住の方に対する支援なので、お住まいの地域で一度お聞きになっていただければと思います。ただ、最初にお尋ねの母国語の教室については、武蔵野市では行っていません。

【理事長】

MIAでは、日本人対象で外国語を勉強したことのない人のための教室があります。

【市長】

もしお子さんが、日本語を話せるのであれば、その教室に参加するということも考えられますね。

6. 公共機関等での外国語対応について

【ご意見】

駅、病院、交番の人が英語で対応できるといい。また、緊急時のアナウンスが心配だ。あと、電車には英語のアナウンスがあるが、バスにはない。

【市 長】

確かにムーバスにも外国語のアナウンスはありません。バスの路線は停留所の間隔が短いので、なかなか難しいかもしれませんが、一言で次の停留所のアナウンスだという言葉があればいいかもしれません。バス停を英語で言うとうなりますか。

【M I A職員】

ネクスト・ステーションとかそのぐらいですかね。

【市 長】

ネクスト・ステーション、一言あるといいかもしれませんね。

【司 会】

ムーバスの停留所には番号がついていますよね。

【市 長】

番号がついているからわかりやすいかもしれません。

【市職員】

武蔵野警察署では、外国人がいらした時に、無料で電話による通訳のサービスがあります。



【市 長】

いろいろなご意見やアイデアをいただきました。J Rやバス会社にも今度伝えてみたいと思います。

7. ボランティア活動について

【ご意見】

アメリカ出身である。今、東北支援のNPOをつくって活動している。東北支援に関わりたいが、自分には行けないので金銭面でサポートするということも行っているの、そのような支援者をこの地域で増やしたい。

現地では、復興支援住宅、仮設住宅などをこれからもたくさん建てなければいけないし、そこに行こうという人たちもたくさんいるが、この支援者を現地へ送り込む間接的な支援として、彼らをサポートするため、資金を集め、ボランティアの活動を支えるというプロジェクトだ。

大部分が教会や米軍の関係者だと思うが、軍の方たちということで、金曜日の夜に行って、土曜日に着いて、仮設の住宅をつくるのを手伝ったりしている。

また、ウェブサイトでは、自分たちが送ったお金、提供した費用がどのような支援につながっているかを写真等で見る事ができる。

【司 会】

M I Aの皆さんも、地震の後、いろいろなボランティア活動をしています。外国人住民のボランティア活動について市長はどのように考えていますか。

【市 長】

昨年の東日本大震災の時には、本当に外国の方にもお世話になっています。各国の支援隊、米軍の皆さんもいち早く救出作業していただきました。世界各地から多くの支援をい

ただけというのには本当にうれしく思いました。こんなに日本が心配されているということに、私も大変心を打たれた次第であります。

私も9月に行ってまいりましたが、1年半以上たった現在でも、被災地の復興はまだまだこれからですので、支援も続けていかなければと思っています。NPOの活動もご紹介いただきましたが、現地には行けないけれども、金銭面で協力する、吉祥寺に1回遊びに行くのをやめてその分を協力するとか工夫をして、ぜひ協力いただけたらと思っています。



4名の職員を被災地に長期派遣

武蔵野市では、被災地の自治体職員が不足しているので、現在4名の職員を1年間ずっと派遣していますが、その職員からもまだまだ人手が足りないということを聞いています。もちろん武蔵野市としても可能な限り支援を続けたいと思っていますが、ぜひ皆さんも機会があれば、まずは現地に行ってみていただきたいと思います。現地に行くと色々なこと、状況がわかりますし、その地域の皆さんと交流をいただくことも支援のひとつだと思います。

【司 会】

MI Aでも募金活動をしており、先日のイベントで東北の皆さんへのメッセージを集めて、素敵なオブジェができていますので、ご覧いただきたいと思います。

8. MI Aの事業、心の支援について

【ご意見】

MI Aで語学ボランティアをしている。MI Aでは外国人のために高校進学説明会を行っている。母国との高校の進学制度が違うので、そういう説明会があることは大変役立つと思う。

【市 長】

MI Aの活動をご評価いただきありがとうございます。

9. MI Aのファミリープログラムについて

【ご意見】

今は亜細亜大学の学生で、中国から来た。MI Aでファミリープログラムに参加している。去年自転車事故にあった時、その場でどうすればいいのか困ったが、そのとき一番親しい人に電話したくて思い出した人はMI Aで出会った日本のお母さんだった。電話したら、すぐお母さんからMI Aに連絡をとってくれ、大学にも連絡がとれた。生活だけではなく、支えにもなっていただき本当にうれしかった。

事故の相手が89歳のおばあさんだったが、そのおばあさんの息子さんが小学校の校長先生で、おばあさんもすごくけががあつたのに、私のけがのこともずっと心配してくれて、大学や保険会社にも電話してくれて、事故や生活に困ったところがあるかどうか、何回も電話してくれて、本当に感動した。

日本に来てから1年ちょっとですが、恵まれている環境とすぐれた教育者の方々に影響

を受けたので、日本のいいところをもっともっと勉強したい。

【市 長】

ありがとうございます。けがはしたけど、そういう出会いができてよかったのかもしれないですね。小学校にも時々顔を出してください。そういう出会いがあって、例えば子どもたちに言葉を教えるとか、何かそういうことまでできるといいのかもしれないですね。

武蔵野市内は大変真っ平らな土地ですから、自転車がすごく乗りやすく、自転車も多いんです。なので、やはり自転車の事故も多くなっています。自転車も乗り物のひとつなので、自動車と同じように交通ルールがあります。皆さんは日本の交通ルールをどこかで学んでいますか。基本的には万国共通だと思いますので、注意して乗っていただきたいと思います。

10. 大学間の交流について

【ご意見】

小学生との交流活動をやっている、母国語の料理を教えたり、一緒に食べたりとか、そういう活動を一緒にやっているが、とてもおもしろかった。これからは小学生だけではなく、武蔵野市にはいろんな大学があるので、大学と大学の間のそういう交流活動を企画すればいいと思う。昔やりたかったのだが、1人でできなくて、例えばスポーツ大会とか、武蔵野市の市内で大学とか、交流活動とかあればいいと思う。

【市 長】

ありがとうございます。武蔵野市内には、亜細亜大学をはじめ成蹊大学、武蔵境の南側に獣医生命科学大学、この3つの大学があります。それと武蔵野市の周りに、武蔵野大学と東京女子大学があり、この2つの大学もあわせて、武蔵野地域五大学と呼んでいます。

現在、社会人の方も学べるような教室を各大学で開くなど学びの場を提供していただいております。また、大学の学長と学長懇談会として年に何回か集まって、いろんな意見交換もしていますので、何かお互い近くの大学の学生同士が何か交流してできるようなことがあればいいのかもしれないですね。今度そういったことも学長会議の中で、こんな意見もありましたと伝えていきたいと思います。皆さんも積極的にほかの大学にアプローチして、何か一緒にやりませんかということも言っていんじゃないかと思います。それでつながりが広がっていくような気がします。全てを行政、市がやるというのではなくて、皆さんに自主的にやっていただくことがよりつながりに広がっていくかもしれません。ご提案ありがとうございました。

【理事長】

MIAでもボランティア活動を行っています。学生の方々がどんどん参加されていますので、そういうところで横のつながりをつくるのもひとつの方法ではないかと思います。



【ご意見】

学生の交流ということにすごく興味がある。文化交流として、ゴスペルのサークルをここでしてみたいと思っている。そして、いろいろなイベントをしてみたい。料理もうまい方もいるので。

11. M I Aへの支援について

【ご意見】

中国から来た。M I Aは外国人たちの心の支えになっている。ぜひ市から、資金をたくさん出していただきたい。毎年のお祭りも、前と今と全然違っていて、資金が足りないのではと思ってしまう。だから、ぜひお願いしたい。

【市 長】

難しい質問です。M I Aにつきましては、市がしっかりと補助を出して運営していただいておりますけれども、その財源としては、基金を設けて、その基金を元手に協会に出していこうということなので、毎年お願いすることができるのですが、それを増やすということはなかなか難しいかもしれません。今、市の財政も増えていきません。税収は上がっていかない。これから先を見越すとどうなるかなという、上がることはないけど、下がる可能性はあるなという状況なので、いろいろなところで工夫をしていかなければなかなか難しいです。

もちろんM I Aの活動には期待していますから、武蔵野市としても可能な限り支援を続けていきたいと思っていますので、ぜひ皆さんも支えていただきたいと思います。会員制度もとっており、資金の拡充にもつながると思いますのでぜひ会員を広げていただきたいと思います。

12. 外国人転入者への支援について

【ご意見】

タイから来た。日本に来たばかりの方に対して、市に登録したら、市役所から何か案内があるか。お仕事とか文化、勉強とか。例えば、日本にいて言葉の問題がある。だから、言葉を使わないような仕事を市役所が紹介できるか。

【市 長】

難しいのですが、武蔵野市は職業紹介を特にしていないです。東京都のハローワークが三鷹にありますので、そういう紹介を受けられると思います。

【司 会】

外国から来て日本の生活を始めると、人脈もなくなってしまうし、知らないことが多いので、何かそれをつなぐようなことを市役所でやってもらえたらと。

【市職員】

皆さんが引っ越してきたときに住民登録すると、その時に外国人のための情報誌が英語と日本語一緒に、それとM I Aの情報誌の入った袋をお渡ししています。それを読んで、わからない時は、市役所には英語と中国語を話せる職員がいますので、ご案内できます。

【M I A職員】

今まで母国ではいろいろなキャリアをお持ちだったのが、国が変わって日本に来たら、言葉もあんまりできないし、なかなか自分が活かせる場所がないということで、何か自分が活かせる場所につなげてくれるようなそういうシステムというか、サービスがあるといいなというご希望ではないですか。

【ご意見】

それもあるが、やはり一番の疑問は、登録したら市役所のほうからは声をかけてくれないのかということだ。例えば仕事をしたいとか、こういう案内があるとか、興味があったらどうぞ、とかがない。

【市 長】

その方が、どんなことを聞きたいのかをご相談いただいてから、それに対してこういう情報がありますというのが第一かなという気もしますので、まずはぜひどこかでご相談いただければと思います。

【ご意見】

市役所には相談会のようなものがあるか。最初にここに来たばかりの人はみんな全く何もわからないから、何しようという部分もわからない。だから、その人たちに対する支援が何かないだろうか。

着いたばかりの方は、日本語ができない。だから、ホームシックとかいろいろあって、問題があるのではないかな。それで何かちょっと声かけられたらと思う。

【司 会】

日本語ができなくても社会に参加できるチャンスですよ。

【ご意見】

言葉がわからない1年間はすごくつらいと思う。だから、例えば市役所で何か心のサポートがあったら、仕事とかいろいろつながっていくのかなと思う。

【司 会】

新しく日本に来た方にセミナーをしたり、寂しくないように仲間づくりをしたり。それから、ここへ行ったら、ボランティアができるとか、ハローワークも含めてオリエンテーションをするような機会があればということですね。



【市 長】

それはまさにM I Aに来てもらって、いろいろ相談してもらったら、これは市役所に行けばいいよとか、ハローワークに行けばいいよとかそういう何かアドバイスをしていただけるのではないですかね。

【ご意見】

例えば市は窓で、中に入ったらM I A。だから、窓がないと。来たばかりで日本語がわからないから、もう読めない、もう嫌とか、もう見ない。だから、ドアがあって、ああ、

これもありますねとか、それでだんだんつながって、M I Aに行けばよい。だから、最初の外国人のために何か声かけないかなと思う。

【市 長】

うまくM I Aにつながるような工夫ができればと思います。

13. 武蔵境のまちづくりについて

【ご意見】

亜細亜大学の学生ですが、武蔵境の商店街がもっとにぎやかになればいいと思う。

【市 長】

はい。大変厳しい指摘をいただきました。商店街というのは今経営が厳しいんですね。大きな、例えばイトーヨーカドーとかができると、どうしても皆さんはそっちに行ってい



まいます。あるいはコンビニも皆さん使われていると思いますし、場合によっては、そこでバイトされている方もいらっしゃるかもしれませんが、コンビニとスーパーがあれば大体市民生活が成り立ってしまいます。そうすると、今まで商店街にあった小さなお店がなかなか売れなくなっ

てきて、経営的に厳しくなっているんですね。じゃ、どうしたらいいのか。どうしたら商店街でお買い物できるようになりますか。どういう店だったら利用しますか。

【ご意見】

今の店はちょっと時代に合わなくなっている。吉祥寺のサンロードみたいな感じで、ファッションだけではなくて、そういうほかの雰囲気につくればいいのかではないかと思う。

【司 会】

どうですか。それに賛成の人。また、もっと違う意見がある人いますか。

【市 長】

例えば、どうやったらこの武蔵境周辺の商店街がにぎやかになるか。

【M I A職員】

私も武蔵野市在住で、母も祖母もいるんですけど、確かにすきっぷ通りのところは寂れていて、すごく時代遅れの服とか売っているお店とかもあるんですけど、誰が買うのかなと思ったら、母とか買っているんで、需要はあるようです。

【市 長】

例えばこの武蔵境にはどういうお店が欲しいですか。そういうのはありませんか。

【ご意見】

私は、吉祥寺みたいなのはあんまり好きじゃない。遊びに行くのは好きだけれども、住むのは好きではない。できれば静かなところに住みたいので、このままでもいいと思う。

【市 長】

静かなところ。確かにそうかもしれない。

【ご意見】

今のまちで見ると、古い店とかもあったり、あと新しいチェーン店とかも入ったり、ごちゃごちゃしているという感じだと思う。それも統一するというか、ちょっと明確的に、例えば古い時代の建物を建て直したりとか、あと新しいファッション系のそういうものをつくったりとか、何でもいいのだが、とりあえずテーマ、特徴があればいいのではないかな。

【ご意見】

吉祥寺というのは非常に魅力的な環境が要素というか、一番大事な部分じゃないかと。店もあって、買い物するにもいいけれど、いろいろな人が来て、そういう人たちも含めてまちをつくっている。その環境が大事なんじゃないかと。そういうことが活性化につながるのではないかなと思う。

吉祥寺は、あそこに行くとな人が来て、何か若々しいとかというような印象がある。それに、吉祥寺というのはいろんなイメージがまちにあると思う。吉祥寺という言葉を聞くと、連想するものというのはやっぱりある。

それと比べると、武蔵境はやはりイメージが確立されていないというか、つくられていない状態。多分そのレベルまで行っていないというところが原因ではないか。プレイスという立派な図書館もできたし、ちょっとずつそこに成長しつつあるので、時間がやはり必要ではないかなと思う。

【市長】

武蔵境は今、整備途中なので、成長の過程にあるわけですね。ただし、武蔵境は別に吉祥寺のようにしようとは全然思っていない。さっきおっしゃったように、静かな住宅地の玄関口でもあるわけですね。かつ、亜細亜大や獣医生命科学大学もありますし、また多摩川線の沿線にはICUや東京外語大学などの学校もいっぱいありますので、武蔵境はそういう学生たちのステーションでもあるわけです。そういう若い学生たちが武蔵野プレイスだとかそういうものを使っただきながら、フレッシュな交流が生まれるような、そんな地域であつたらいいのではないかなと思っています。



武蔵野プレイス

デパートがいっぱいあり、にぎやかな吉祥寺のような形ではありませんが、これからもう少し駅前広場などをもう一回整備をしますので、それに合わせておしゃれな店が若干増えてくるとまた雰囲気も変わってくるのではないかなと思っています。

14. 情報を得られる場所について

【ご意見】

武蔵野市に住み始めたばかりだが、日常的に感じているのは、言葉の壁というものもあって、お医者さんをどうやって探すか、日本語教室をどうやって探すか、駐輪場の契約はどうしたらいいのか、自転車置き場を探すにはどうしたらいいのかというようなこと、買い物ということはそれほど大切ではないが、そういった情報を得やすくなるにはどうしたらいいかなと思っている。

【市長】

お困りのことがあれば、ひとつは市役所に来ていただくといろいろなことが相談できますが、市役所は駅から遠いので、M I Aは駅の近くなので相談しやすいかもしれません。

【理事長】

M I Aと市役所を別個のものと考えている方がいらっしゃるような気がしますが、M I Aと市役所というのは一体でやっていますので、とにかく市役所へ行って、これはM I Aのほうが適当だなと考えたら、市役所の方がM I Aを紹介してくださるし、M I Aに来て、これは市役所の仕事のほうがうまくいくんだろうなということであれば、市役所を紹介するというようなことになりますので、一体化していると考えてもらって、両方を自由にお使いいただきたいと思います。

15. 図書館の数、楽器の練習場所について

【ご意見】

ひとつ気づいたが、武蔵野市には図書館が足りないのではないと思う。プレイスはすごくすてきな場所だが、いつも土日は自習室に人が並んでいる。あと、家では楽器を弾けないので、練習場所で困っている。夏は小金井公園など外で練習できるが、冬になると寒い。この間はM I Aで知り合った人と多文化バンドをつくったが、バンドの練習はどこでできるか。プレイスの下にスタジオがあるが、高校生向けだ。

【司会】



楽器を演奏するところが欲しいけれど、プレイスは若者だけで大人がやりたいというときに使用できないので、有料のスタジオを使わなければいけない。せっかく知り合ったお友達とのバンドの練習など文化的なことを育むことができる場所があればいいなということです。

【市長】

プレイスの地下2階にあるのはティーンズフロアなので、10代の子どもたち中心なので、オーバレイジの方はご遠慮いただきたい、我慢していただきたいと思っています。ただ、市内にはいくつか楽器の練習ができる場所があります。市民文化会館の練習室やコミセンでも楽器の練習できる部屋を持ったところがあるので、そこを利用いただければと思います。コミセンは無料で利用できます。

【ご意見】

10代の方が使える場所があるということはとてもすばらしいことだと思うが、私たち大人が使えるところをなくさないでほしい。オープンにしてほしい。

【傍聴者】

北町のコミセンは使えない。使えるのは緑町、吉祥寺西。あと、けやきコミセン。防音の部屋があるらしくて、そこであれば、1人でやる分には多分受け付けてくれると思う。事前に電話で空いているか確認して、空いていれば予約制でそこを1時間ぐらいとれる。

【市 長】

コミセンですから、基本的には団体利用が中心だと思いますので、何人かで利用されるのがいいと思います。個人向けには、空いていれば貸し出すことも可能だと思いますけど、基本的には団体利用なので、お仲間で申し込むといいかもしれませんね。

【司 会】

大人の方の音楽や文化が、そういう活動が活発になるのは市民生活にいいと思いますね。

【市 長】

いいですね。市内にもいっぱい音楽のサークル、大人の方の団体がありますので、そういうところにもご参加いただくと、交流が広がるきっかけになると思います。練習場所としては、学校を利用するところも多いと思います。小中学校の音楽室だとかそういうところを使っているようです。

【傍聴者】

年とってくると、いろいろ音楽をやる人がすごく多いと思う。例えばスイングホールや、市民会館の地下にも音楽室がある。西部コミセンにも小さい部屋があるが、とにかく応募する人がすごく多い。団体がものすごく多くて、どこに行っても部屋が1個しかない。

渋谷区だと、大和田のところに練習室だけで4つ5つぐらいある。小さい部屋から大きい部屋までいろいろある。区にはたくさんあるが、武蔵野市には、どこの施設も音楽できる部屋が1つしかない。だから、皆さん困っていると思う。抽選に私も何回も並んだりしているが、いつもいっぱいになっている。特に週末は。だから、集まってやるグループというのは抽選だから大変である。

そういう意味でもプレイスはちょっともったいなかったと思う。もっとやりようがあったと思う。例えば2階ぐらい高くつくってもらいたかったなと思っている。そういうところも今後課題としていただいたらと思う。

【市 長】

さきほど図書館が少ないというお話がありましたが、武蔵野市は図書館が3つあります。武蔵野プレイス、中央図書館、吉祥寺図書館がありますので、図書館の数からいうと、少なくはないような気もしますが、武蔵野市の場合は、プレイスもそうなのですけれども、ほかの地域から利用される方が結構多くいます。この間プレイスで、登録をした方の居住地を見たら、4割ぐらいが三鷹市から来ています。

武蔵野市は人口が14万弱ですが、それを超えて武蔵野市の施設を多くの方が利用されているということから大変混み合った状況が続いているのかと思っています。武蔵野市は、ほかの周辺地域の公共施設とは相互利用しようということを約束していますので、逆に市民の皆さんが、周辺の都市のそういう施設の情報を集めていただいてご利用いただければいいのではと思います。

(3) 閉会のあいさつ

【武蔵野市国際交流協会 川口 博久 理事長】

皆さん、どうもありがとうございました。いいこと、それからまた、こうしてほしいこと、さまざまなご意見をいただきましたが、いいことはこれからますます武蔵野市でも伸ばしてくれるだろうし、ご希望に関しては、できることから手をつけてくださるんじゃないかと思います。

先ほども申し上げましたけれども、市役所は駅から遠いので、もし何かお困りのことなどございましたら遠慮なく、駅の近くのM I Aまで来ていただきたいと思います。そして、今後も市と連携していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

【市 長】

皆さん、本日はどうもお疲れさまでした。ありがとうございました。楽しかったですね。ぜひまた機会をつくりましょう。今後も皆さんといろいろな意見を交換していきたいし、やはり皆さんの視点というのも大切だと思います。今日もいろいろな課題をご指摘いただきましたので、取り組めることはぜひ取り組んでいきたいし、また、なかなか難しいものはこれからじっくり考えていきたいと思います。

国の制度も今までは外国人登録として、住民登録とは別になっていましたが、この7月から住民票は一緒になりました。以前は、武蔵野市の人口は住民登録の13万6,000人に、プラス外国人登録の方が2千数百人という形でしたが、7月以降は武蔵野市の人口は13万8,000人となっています。この中に当然外国人の方も入っておりますので、これからは市民の一員として大切にしたいと思っておりますし、皆さんも逆に市民の一員としてぜひ市政にも関心を持って、いろいろなご意見を言っていただければと思っています。また、いろいろなイベントにもご参加、ご協力いただければと思っています。これからはよろしくお願いします。本日はありがとうございました。

第48回タウンミーティング意見一覧

(※アンケートでいただいたご意見も含みます。また、同じ趣旨のご意見については、一部割愛しています。)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1	ボランティア	今、東北支援のNPOをつくって活動している。東北支援に関わりたいが、自分では行けないので金銭面でサポートするということも行っているの、そのような支援者をこの地域で増やしたい。	市では、東日本大震災発生以降、市民社協、市民団体等と協力し、募金活動や物資支援、被災地への職員や市民ボランティアの派遣など様々な支援活動を行ってきました。また、MIA(武蔵野市国際交流協会)でも、外国人会員を中心に「東日本大震災復興支援チャリティーコンサート」などを開催いたしました。今後も様々な形で支援を行ってまいります。
2	外国人への支援	日本に来たばかりの方に対して、市に登録したら、市役所から何か案内がありますか。お仕事とか文化、勉強とか。例えば言葉、日本にいて言葉の問題ですね。壁。だから、言葉を使わないような仕事を市役所が紹介できますか。	武蔵野市に住民登録の際には、災害時の対応やごみなどの生活情報について、英語、中国語、韓国語の案内をお渡ししています。 市役所にお問い合わせいただくほか、MIA(武蔵野市国際交流協会)では外国人へ生活情報の提供と多言語による相談・情報提供窓口を設置していますので、お気軽にお問い合わせください。 なお、仕事の紹介は市役所やMIAが行うことはできません。ハローワーク三鷹では外国語による職業紹介を行うことができます。希望の職種や言語に応じて、対応できる窓口をさらに紹介してもらうことになります。
3		武蔵野市に住み始めたばかりですが、日常的に感じているのは、言葉の壁というものもあって、お医者さんをどうやって探すか、日本語教室をどうやって探すか、駐輪場の契約はどうしたらいいのか、自転車置き場を探すにはどうしたらいいのかというような情報ですね。そういったものを得やすくなるにはどうしたらいいかと思っています。	
4		外国人との人的・心の交流他多方向のサポートを外国人は期待している。	
5	公共機関等での外国語対応	駅、病院、交番の人が英語で対応できるといい。また、緊急時のアナウンスが心配です。 あと、電車には英語のアナウンスがあるが、バスにはない。	ムーバスのバス停間隔は、路線バスより短い200mを目安としており、アナウンス時間に制約がありますが、今後も、利用者にわかりやすい車内放送に向けて、可能性等を検討していきたいと考えています。 空港行きリムジンバスには、英語アナウンスを導入しているのとはことですが、一般路線バスへの導入要望については、事業者にお伝えします。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
6	学校生活	半月前、武蔵野市に来ました。今後、娘が日本に来る予定ですが、学校のことについていろいろ聞きたいと思っている。テレビでよく聞くがいじめられないか心配している。	生活習慣の違いなどで不安のある場合は、帰国外国人教育相談室で対応しています。学校ではいじめが未然に防げるよう日頃から努めておりますが、ご心配事がありましたら在籍している学校と十分情報交換等をしていただきたいと思います。
7	母国語の学習	自分の子どもを日本の小学校に入れると、どうしても私の母国語を勉強する機会がない。母国語を忘れてしまうのはどうかという悩みもある。もし市で母国語学習の支援があれば、本当にいいなと思う。	市内に居住する外国人は多く、言語も多様なため、MIA(武蔵野市国際交流協会)では日本での生活を支援することに力を注いでいます。MIAでは、多くの外国人の方が会員になっていますので、同じ国の方とお話する機会もできると思います。
8	MIAに対する支援	MIAは外国人たちの心の支えになっています。ぜひ市から、資金をたくさん出していただきたいんです。毎年のお祭りも、前と今と全然違って、資金が足りないのではと思ってしまう。だから、ぜひお願いしたい。	MIA(武蔵野市国際交流協会)は、公益財団法人として日本人会員の皆さんの会費を元に事業を実施していますが、市でもその公益性を考慮し団体の基本的運営に補助を行っています。
9	各大学の交流	小学生との交流活動をやっている、母国語の料理を教えたり、一緒に食べたりとか、そういう活動を一緒にやっていますが、とてもおもしろかったと思います。これから小学生だけではなく、武蔵野市にはいろんな大学があるので、大学と大学の間のそういう交流活動を企画すればいいと思っています。昔やりたかったのですが、1人でできなくて、例えばそういうスポーツ大会とか、武蔵野市の市内で大学とか、交流活動とかあればいいと思います。	市では、武蔵野地域の五大学(亜細亜大学・成蹊大学・東京女子大学・日本獣医生命科学大学・武蔵野大学)と連携し、それぞれが保有する知的資源を活用して、多様な生涯学習の機会を提供しています。 また、五大学の学長と市長が「武蔵野地域学長懇談会」を組織し、市と五大学が共同した五大学共同講演会や五大学共同教養講座などの事業を実施するほか、大学の協力を得て、市民が一般学生と一緒に大学の講義を受講できる機会を提供する武蔵野地域自由大学を開設しています。 地域学長懇談会等の場において、本日のご意見を伝えていくとともに、今後も地域にある知的資源を有効に活用していきたいと考えています。
10	図書館	武蔵野市には図書館が足りないのではないかと思います。プレイスはすぐすぐできる場所ですが、いつも土日は自習室が並んでいます。	図書館は、成人・児童とも日常的な貸出を重視し、規模が小さくても身近に図書館施設を配置することに重きを置くものと日常的な貸出は確保しつつも市民の調査研究活動や多様な要求に応えるために参考図書や新聞・雑誌をある程度取り揃えた一定規模の図書館を配置するものがあると考えます。 市では、後者の考えに立ち、市内3駅圏に図書館を1館ずつ配置する3館構想により図書館運営を行っています。この3館を核として、既存の公共施設との連携も図りながら、市内全域へサービスが行き渡るような図書館運営を目指しています。 3館とも資料等を閲覧するための席を設けておりますが、土日などはたいへん利用が多い状況です。時間制などを設けることにより、特定の方が独占することなく、公平に多くの方にご利用いただけるよう工夫しています。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
11	音楽の練習場所	楽器を弾いていますが、家で弾けないので、練習場所で困っています。夏は小金井公園など外で練習できますが、冬になったら寒くて。この間はMIAで知り合った人と多文化バンドをつくってしましたが、バンドの練習はどこでできますか。プレイスの下にスタジオがありますが、高校生向けです。	武蔵野プレイス地下2階にあるサウンドスタジオは、利用者講習会を受講していただければどの年代の方でもご利用いただけますが、青少年の利用が多い、平日の14時30分以降及び土日祝日の終日（夏休みや冬休みの長期休暇期間は平日も終日）は青少年のみの利用としています。 他に楽器の使える施設としては、市民文化会館の音楽練習室、吉祥寺美術館の音楽室、市民会館の音楽室があります。また、学校施設開放として、音楽室など市内の公立小・中学校施設を学校教育に支障のない範囲で利用することができます。施設によっては、利用条件や申請方法等が異なりますので、それぞれの施設や担当部署にお問い合わせください。 無料で利用できる施設としては、各地域にコミュニティセンターがありますが、主に住宅街にあるため、近隣にお住まいの方への配慮等から楽器の使用について館ごとに利用のきまりが異なります。ご利用の際には各コミセンへお問い合わせください。
12	ごみ	ごみの袋が高い。それから、ごみの分別の仕方が難しい。	市指定のごみ袋の値段については、ごみ問題への意識啓発等の観点も含め、様々な経費を勘案して定めたものです。したがって、現在のところ値下げの検討は行っておりません。 資源ごみも含めてごみは適正な分別をすることで処理費用や環境負担を減ずることができるため、収集の頻度、処理方法なども勘案し現在の分別種別とさせていただいています。分別方法が不明の場合は、ごみ総合対策課にご相談いただければと思います。 市指定のごみ分別へのご協力をお願いいたします。
13	武蔵境のまちづくり	武蔵境の商店街がもっとにぎやかになればいいと思います。	武蔵境駅周辺は、現在、道路や広場など都市基盤の整備を行っているが、静かな住宅地の玄関口を保ちながら、南北一体のにぎわいづくりに取り組んでいきたいと考えています。また、吉祥寺とは違った雰囲気のある商店街になるのではとも考えています。 また、市では、補助金などにより以下のイベント等を支援しています。 ・各商店街のセール、お祭り ・駅イルミネーション ・武蔵境ジャズセッション ・落語まつり ・富士見通り商店街コミュニティスタジオ「ハートランド富士見」 ・さかいマルシェ、さかい夜市 今後とも、商店街がよりにぎやかになるよう、支援を行ってまいります。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
14	まちづくり	吉祥寺と武蔵境。武蔵境は住む町・・・静かな雰囲気が必要。加えて個性のあるたたずまいがほしい。長い目で吉祥寺と武蔵境がもっと個性的な方向をめざして町づくりを行ってほしい。	吉祥寺は交通利便性、井の頭恩賜公園を中心とする貴重な自然環境を持ち、さらには良好な住宅街に囲まれている立地特性を活かし、商店街と大規模店舗との共存による回遊性の高さから都内でも有数の商業集積地として、また、住みたいまち・住んでよかったまちNo.1として高い評価を得るなど良質な居住地としての特性を兼ね備えているといえます。 市では、近年激化する都市間競争の中で、今後も吉祥寺が魅力を発揮し続けるため、「吉祥寺グランドデザイン」と、その推進計画である「NEXT-吉祥寺」プロジェクトを作成し、さらに高い商業競争力と良質な居住環境の維持・向上のため、「安全で歩いてたのしいまち」をコンセプトとし、「回遊性の充実」と「安全安心の向上」を目指しています。 これからの武蔵境は、水と緑を活用した「うるおい」、多様な人々との「ふれあい」、地元商店会や各市民団体によるまちの活性化「にぎわい」をコンセプトに、武蔵境らしい魅力あるまちづくり、また、鉄道の高架化に伴う南北一体のまちづくりの実現に取り組んでいます。
15		人口密度が非常に高いという事で自転車対策が重要・・・防災・事故対策等市としてのインフラ(基本構想)がしっかりしている事が大事と感じた。環境騒音にも通じる。	「自転車走行は車道の左側が原則、歩道は例外」などの自転車利用に関するルールの周知やマナーの向上については、平成20年10月より「自転車安全利用講習会」を開催し、自転車利用に関するルール・マナーの遵守意識向上に努めています。 平成25年3月末現在、約14,000名を超える方が受講しています。講習会開催以前の平成19年には、市内の自転車関与交通事故が335件ありましたが、平成24年では190件となり、40%超減少しています。今後も、ルールやマナーについて、啓発等を行ってまいります。 市では、現在「武蔵野市地域防災計画」の見直しを進めています。今後も武蔵野市の地域防災力をいっそう高め、安心・安全なまちづくりを推進していきます。

3. アンケートでいただいた感想

(※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています)

1	MIAにとってもお世話になっています。
2	選挙権がない私達外国人のため、このような市民タウンミーティングを開催して下さることは本当に感謝しています！
3	武蔵野市内に在住して約11年になります。外国から見た吉祥寺がどのように、外国人の方々に写っているのかを率直に聞きたくて参加させていただきました。英会話の片言でしかできませんが、生で聞きたく参加させていただきました。 市報で確認した次第では、市内には2千人の方々が住んでおられるということ。毎月すこしずつ増加傾向？だとすれば他国との親善という意味でも市をこよなく愛してもらう上でも共存共栄はもちろん国際交流の観点是非常に大事と考えております。老若男女協働してすばらしい吉祥寺にしていきたいですね！



しみん しちょう たう ん み - て い ん ぐ 市民と市長のタウンミーティング

こんかい むさしのし す むさしのし はたら がっこう い
今回は武蔵野市に住んでいる、または武蔵野市で働いている、学校へ行っている外国人の方と市長が“まちづくり”について意見交換します。あなたの声を聞かせてください。

にちじ がつ にち かようび ごご
日時: 11月27日(火)午後6:30~8:30

ばしょ むさしのしこくさいこうりゅうきょうかい むさしのしakai すい ん ぐ び る かい
場所: 武蔵野市国際交流協会(MIA) 武蔵野市境2-14-1スイングビル9階

ごご がいこくじん さんかしゃ はな
*午後6:30~7:00は、外国人の参加者だけで話しあいます。



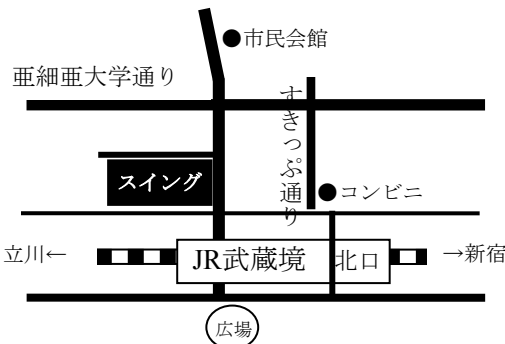
がいこくじん く テーマ 『外国人にも暮らしやすい まち とは?』

むさしのし す き い たぶんか してん
武蔵野市に住んでみて気づいたこと まちづくりに生かす多文化の視点など

もうしこ さんかひ
申込みはいりません。参加費もいりません。

しゅざい むさしのし
主催: 武蔵野市、
こうえきざいだんほうじんむさしのしこくさいこうりゅうきょうかい
公益財団法人武蔵野市国際交流協会

と あ むさしのしやくしよしみんかつどうすいしんか
お問い合わせ: 武蔵野市役所市民活動推進課
でんわ
電話 0422-60-1829, ファックス0422-51-2000



TOWN MEETING of citizen & mayor

A town meeting will be held where the mayor of Musashino City and citizens can exchange opinions.

Please join and speak up now! This meeting is for the people living, working or studying in Musashino city.

Time, Date & Venue: 6:30 p.m. to 8:30 p.m., Tuesday, November 27, at Musashino International Association (MIA), Swing Bldg. 9F, 2-14-1 Sakai, Musashino. A preliminary meeting by foreign participants will be held from 6:30 p.m. to 7:00.

Topic: “TO CREATE A CITY
IN WHICH FOREIGNERS CAN LIVE
COMFORTABLY”

- Any comments you want to give us on living
in the Japanese community in Musashino -

No application needed & Admission free.

Eventologist: Musashino City & Musashino International Association (MIA)

For more information: Civic Activities Promotion Section of Musashino City Phone: 0422-60-1829, Fax: 0422-51-2000



市民和市長的对话集会

武蔵野市市民和市長互相交換意見。

让市長听听您的心声。

対象: 居住・工作・留学在武蔵野市的外国人

时间: 11月27日(周二) 下午6点30分~8点30分
下午6点30分~7点外国人之间相互交流

场所: 武蔵野市国际交流协会(MIA)
武蔵野市境2-14-1 SWING 9楼

主题

外国人也适宜居住的城市?

住在武蔵野市所感觉到的事、
有利于城市建设的多元文化的视角等等。

不用预约。免费。

主办: 武蔵野市、
公益財団法人武蔵野市国际交流协会(MIA)

咨询: 武蔵野市市役所市民活动推进科

电话0422-60-1829 传真0422-51-2000

だい かいし めん しちょう たうん みーてい ング
第48回市民と市長のタウンミーティング
48th TOWN MEETING



第48次市民和市長的对话集会

てーま
テーマ

がいくじん く
『外国人にも 暮らしやすい まち とは？』
むさしのし す き い たぶんか してん
武蔵野市に住んでみて気づいたこと、まちづくりに生かす多文化の視点など。

**“TO CREATE A CITY
IN WHICH FOREIGNERS CAN LIVE COMFORTABLY”**

Any comments you want to give us on living in the Japanese communities in Musashino

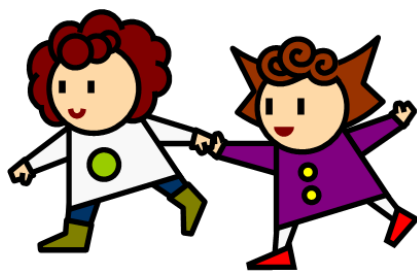
外国人也适宜居住的城市？

住在武蔵野市所感觉到的事、有利于城市建设的多元文化的视角等等。

当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、下記
枠内にお書きになり、市役所(7階)市民活動推進課、または各市政センターにお届けいた
だくか、FAXで市民活動推進課にお送りください。

If you cannot join in, please write your opinions about the above topics to the mayor
in the following space and hand to Civic Activities Promotion Section of Musashino City
(7th floor) or the nearest *Shisei* Center, or send it by FAX.

有关上述内容想向市长表达您的意见和愿望,但是当天不能参加的人,请把您的意见写在下面栏内,
然后交给市役所(7楼)市民活动推进科、或者交给各市政中心,也可以用传真传到市民活动推进科。



交流事業課マスコット **コウちゃん リュウくん**

第48回

テーマ別
市民と市長のタウンミーティング

報 告 書

発行 平成25年4月
武蔵野市 市民部 市民活動推進課
武蔵野市緑町2丁目2番28号
電話(0422)60-1829 (直通)